

# 船舶事故調査報告書

平成28年6月23日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成27年11月15日 15時14分ごろ
発生場所	広島県尾道市 <sup>もも</sup> 百島南方沖 海老港 <sup>えび</sup> 西防波堤灯台から真方位174° 3,900m付近 (概位 北緯34° 21.5′ 東経133° 15.9′)
事故の概要	プレジャーボート <sup>かいせい</sup> 海正丸は、漂流中、また、プレジャーボート <sup>ゆたか</sup> 寛丸は、西進中、両船が衝突した。 海正丸は、同乗者1人が負傷し、左舷中央部に擦過傷を生じ、また、寛丸は、船首部に擦過傷等を生じた。
事故調査の経過	平成27年11月17日、調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート 海正丸、5トン未満（長さ6.39m） 270-38966 広島、個人所有 B プレジャーボート 寛丸、5トン未満（長さ5.97m） 260-14169 広島、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、二級小型 B 船長B、二級小型・特殊・特定
負傷者	A 軽傷 1人（同乗者A） B なし
損傷	A 左舷中央部に擦過傷 B 船首部に擦過傷等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	A船は、漂流して釣りをしていた。 船長Bは、同乗者の1人と会話に夢中になって前方を見ずに約7ノットの対地速力で航行を続けていた。
分析	A船は、漂流中、B船と衝突したものと考えられるが、船長Aから情報が得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。 B船は、船長Bが、同乗者と会話をしていて見張りを行っていなかったことから、漂流中のA船に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、A船が漂流中、B船が西進中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

	・ 常時適切な見張りを行うこと。
--	------------------